

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済協力班

当代表部ではアフリカ各国に関連するビジネスニュースに加え、民間セクター・関係機関に有益と思われるトピックを中心に毎月配信しております。ビジネストレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、あるいは進出を検討している方々にとってお役に立てればと思っております。また同時当代表部ではウェブサイトに加えて、X(旧twitter)のアカウントも以下の通りございますので拡散・フォローいただけますと幸いです。

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

大使 Xアカウント: <https://x.com/AmbJapantoAU>

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】中国華建グループがソーラーパネル生産に1億ドル投資契約を締結

中国華建グループは週末、エチオピアのオロミア州 Geda 経済特区(SEZ)で輸出用ソーラーパネル生産を目的に1億ドルの投資契約を締結。

<https://www.fanamc.com/english/chinas-huajian-group-signs-100-million-investment-agreement-for-solar-production-in-geda-sez/>

(2)【ウガンダ】韓国 KHNP ウガンダ初の原子力発電所の立地調査を主導

韓国水力原子力発電 KHNP (Korea Hydro & Nuclear Power: KHNP) は、ウガンダのエネルギー鉱物開発省 (Ministry of Energy and Mineral Development) より、同国初の原子力発電所の建設予定地 (the Buyende District) の立地調査業務を請け負う。

<https://www.intellinews.com/south-korea-s-khnp-to-lead-site-study-for-uganda-s-first-nuclear-plant-383990/>

(3)【ケニア】ケニア、エチオピアからの電力輸入技術チームを派遣

ケニアはピーク時の 283MW にも上る電力不足を補うために、エチオピアから追加分として 200MW の水力発電による電力を購入予定である。2022 年に締結された 25 年間に亘る契約ではエチオピアがケニアに 200MW までを kWh あたり US6.5 セントで供給するものであり、ケニアの火力発電コスト(最大 US20 セント)を大幅に下回る。交渉チームは、2025 年半ばまでの契約締結を目指し、関税率、供給スケジュール、送電網安定化策を最終決定する。

<https://www.kdrtv.co.ke/news/kenya-dispatches-technical-team-for-200mw-ethiopian-power-import/>

(4)【ケニア】元テスラ幹部がケニアでE モーターバイクを導入

元テスラ幹部が設立した電動モビリティ会社 Zeno は、ケニアで電動バイクを発売し、東アフリカ市場に参入した。サンフランシスコ、ナイロビ、バンガロールを拠点とする同社は、地域全体で2つの組立て工場と9つのショールームを設立しており、ケニアは電動バイクと3モード充電インフラシステムの導入する最初の市場となる。このスポーツユーティリティ E モーターサイクルは、積載量 250 キログラム、地上高 190 ミリメートルを特徴としている。

<https://allafrica.com/stories/202506170166.html>

(5)【タンザニア】英国系 Petredec 社による LNG ガスターミナル開発プロジェクト開始

Petredec 社はタンザニアで LNG ガスターミナル開発プロジェクトを開始した。本プロジェクトは同国のサミア・スルフ・ハッサン大統領の優先事項であるクリーン調理の目標を前進させる画期的な取組であると同時にエネルギー安全保障を強化するものである。超大型 LNG 船 VLGC も接岸可能になる予定で、これもアフリカの国にとっては初となる。

<https://www.tradewindsnews.com/gas/vlgcs-to-dock-in-tanzania-for-first-time-as-petredec-launches-new-gas-terminal-project/2-1-1832507>

(6)【ルワンダ】中国コッティコーヒー、ルワンダでサプライチェーンを強化

急成長している中国コーヒーチェーンのコッティコーヒーは、新たな輸出機会を創出するためルワンダのコーヒー生産に投資を決定。ルワンダ政府と覚書 (MoU) を締結し、産地、加工、貿易プログラムのバリューチェーンを強化する。

<https://www.worldcoffeeportal.com/news/chinas-cotti-coffee-bolsters-supply-chain-with-rwanda-trade-agreement/>

■西部アフリカ

(7)【ガボン】2029 年までにマンガンの輸出を停止

ガボンは、地元産業を活性化し、未加工の資源輸出への依存を減らす国家戦略の一環として、2029 年までにマンガン鉱の輸出を停止する予定である。マンガンは、石油や木材と並んで、ガボンの主要な収入源のひとつであり、同国は現在世界第 2 位の産出国である。未加工鉱物の輸出を停止することでガボンは国内の加工能力を開発し、熟練した雇用を創出し、天然資源からより多くの価値を保持することを目指している。

<https://www.africanews.com/2025/06/01/gabon-to-halt-manganese-exports-by-2029/>

(8)【コートジボワール】ペトロbras、アフリカをブラジル国外での探査の最重点地域

ブラジル国営石油大手ペトロbrasは、コートジボワールにおいて 9 つの深海・超深海探査鉱区を優先的に取得する権利を獲得した。同社はアフリカをブラジル以外の主要成長市場と位置づけ、ナイジェリア、アンゴラ、ナミビアなど関連地域にも関心を示している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/petrobras-seeks-to-make-africa-its-top-exploration-focus-outside-brazil/k4mh4p7>

(9)【コートジボワール】投資ファンド CFM、コートジボワールでバイオマス発電所に投資:

Climate Fund Managers (CFM)とコートジボワールの独立系発電事業者 Société Des Energies Nouvelles はバイオマス・プロジェクトを共同で進めるため 300 万ドルの資金調達契約に調印した。76MWの本プロジェクトは、世界初の系統連系型カカオ廃棄物発電所と言われ、官民パートナーシップで開発されている。完成すれば、年間 60 万トンの農業廃棄物を利用して発電を行う。

<https://www.powerengineeringint.com/renewables/biomass/cfm-invests-in-grid-connected-biomass-plant-in-cote-divoire/>

(10)【カーボベルデ】アフリカ開発銀行再生可能エネルギー計画に 1960 万ユーロ融資決定

アフリカ開発銀行グループ理事会は、カーボベルデの Cabeólica フェーズ II 拡張プロジェクトを支援するため 1,960 万ユーロの融資パッケージを承認した。このプロジェクトは、風力発電とバッテリー蓄電システム(BESS)を大規模に統合する同国初の再生可能エネルギー構想である。今回の融資には、アフリカ開発銀行からの約 1,260 万ユーロの融資と、世銀グループが管理する「アフリカのための持続可能なエネルギー基金(SEFA)」からの 700 万ユーロの譲許的融資が含まれる。

<https://afdb.africa-newsroom.com/press/african-development-bank-approves-euro196-million-in-financing-to-scale-up-cabo-verdes-pioneer-in-wind-and-battery-storage-capacity?lang=en>

(11)【ナイジェリア】ナイジェリアと赤道ギニア、パイプライン・プロジェクトで協定を締結

ナイジェリアと赤道ギニアは、ギニア湾ガスパイプライン(GOGGP)プロジェクト条約実施のためのロードマップを策定する共同コミュニケに署名した。それによると、ナイジェリア石油資源省、ナイジェリア国営石油 NNPC Ltd、ナイジェリア上流石油規制委員会、赤道ギニア炭化水素・鉱業開発省、SONAGAS で構成されるガス供給に関する共同運営委員会を設置し、パイプライン敷設の特別会社設立の合意がなされた。

<https://thesun.ng/nigeria-equatorial-guinea-seal-pact-on-gulf-of-guinea-gas-pipeline-project/>

■南部アフリカ

(12)【モザンビーク】中国企業、モザンビークへの投資を拡大

アフリカに特化した中国企業 Wangkang Holding Group 劉会長が、モザンビークのダニエル・チャポ大統領と会談し、同国への一連の新規投資について提案した。提案のひとつは、首都マプトから北へ約 60 キロのモアンバ地区に経済特区を設立に関するものである。同グループは既に 2024 年 9 月にセラミック工場を稼働させている。

<https://macaonews.org/news/lusofonia/china-africa-mozambique-wangkang-investment/>

(13)【ザンビア】銅鉱山近くで EV 部品を製造する自動車メーカーを募集

銅資源の豊富なザンビアで、電気自動車(EV)部品製造を行う企業を誘致するため、財務大臣自らがドイツで各自動車メーカーと協議を行った。これらの部品は南アフリカの各社の工場に出荷され、その後世界中に輸出される。

<https://www.miningweekly.com/article/zambia-seeks-carmakers-to-make-ev-components-near-copper-mines-2025-06-09>

(14)【ザンビア】Globeleq がザンビアの水力発電会社の株式の過半数を購入

独立系発電事業者の Globeleq は、ザンビアの Lunsemfwa Hydro Power Company (LHPC)の株式 51%を取得するため、ノルウェーの開発機関 Norfund と株式売買契約を締結した。購入価格は明らかにされていないが、取引は 2025 年後半に最終決定される予定である。

<https://www.engineeringnews.co.za/article/globeleq-moves-to-buy-majority-stake-in-zambian-hydro-company-2025-06-19>

■北部アフリカ

(15)【エジプト】GAC INTERNATIONAL が CKD プロジェクトを開始

2025 年 5 月 19 日、エジプトのカイロにて広東・香港・マカオ大湾区・アフリカ(エジプト)経済貿易協力交流会議が開催され、香港特別行政区の曾国外・大陸事務局長、マカオ貿易投資促進院の余裕生・院長、エジプト下院のモハメド・アブー・エル・エネイン副議長が会議に出席した。民間からは GAC グループの馮興雅会長兼社長、GAC INTERNATIONAL の魏海剛社長と王俊生副社長、Abdul Latif Jameel Motors(ALJ)の経営幹部が会議に出席し、エジプトでの CKD (Completely Knocked Down) 現地生産を進めるための現地化協力協定に署名した。本プロジェクトは GAC の「現地生産、現地サービス」コミットメントの重要なマイルストーンとなる。

<https://www.prnewswire.com/news-releases/gac-international-launches-ckd-project-in-egypt-pioneering-a-new-model-for-china-africa-industrial-collaboration-302477696.html>

(16)【モロッコ】モロッコ、アフリカ初の洋上風力発電所建設

モロッコ当局は、エッサウィラ沖にアフリカ初となる洋上風力発電所を建設すると正式に発表した。容量 1000MWのこの風力発電所は、地中海南部と紅海における持続可能なブルーエコノミーを支援するマルチ・ドナー・ファンドである地中海ブルーパートナーシップ (MBP) が資金提供する第一号案件となる。本プロジェクトは 2029 年までに建設開始予定である。

<https://splash247.com/morocco-to-build-africas-first-offshore-wind-farm/>

(17)【アルジェリア】24 万トンのトウモロコシ購入のための入札を実施

アルジェリア国営調達機関 ONAB は、飼料用トウモロコシを 24 万トン購入するための国際入札を実施した。締め切りは 6 月 17 日だったが、入札はまだ審査中であり、購入は報告されていない。

<https://ukragroconsult.com/en/news/algeria-announces-tender-for-purchase-of-240-thsd-tons-of-corn/>

(18)【アルジェリア】鉱業プロジェクトに 80%までの外国人所有を認める法律を承認

アルジェリア議会は、外国企業による鉱業プロジェクトの 80%までの所有を認める新法を可決した。これは、OPEC 加盟国が経済の多様化を目指す中で、大きな変化を示すものである。アルジェリアは、経済の多様化を図るため、外国企業による鉱業プロジェクトの 80%までの所有を認める法律を可決した。この法律は、投資を簡素化し、採掘産業を強化し、高価な輸入を削減することを目的としている。アルジェリアはリン鉱石、鉄鉱石、鉛、亜鉛の埋蔵量を開発し、鉱物輸出を拡大する計画である。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/algeria-approves-law-allowing-up-to-80-foreign-ownership-in-mining-projects/dl7d9s9>

■その他

(19)【UN/アフリカ連合】国連アフリカ経済委員会(ECA)、ザンビア、ジンバブエ、マラウイに電子商取引ツールとマーケティング戦略の能力向上を支援

ECA とイタリア政府による共同イニシアティブとして進められており、AfCFTA 効率的な導入を目的に支援・調査プログラムを実施している。フェーズ2ではカメルーン、コンゴ民主共和国、ガボン、マラウイ、モーリタニア、ザンビア、ジンバブエで電子貿易の準備状況評価や AfCFTA 導入のための関係者のスキル及びインフラ実態調査を行うなどした。地域な持続可能な発展を可能にするために起業家の能力開発の重要性が改めて示された。

<https://www.africa-newsroom.com/press/united-nations-economic-commission-for-africa-eca-capacitates-zambia-zimbabwe-and-malawi-in-ecommerce-tools-and-marketing-strategies?lang=en>